

(機関管理者) 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 松 田 芳 夫



第599回建設技術講習会（災害に負けない国土・地域づくり）開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約6万3千名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上を図り、建設関係施策の円滑な推進及び良質な社会資本整備に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした公益法人であります。

さて、私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に負けない国土・地域づくり、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントと公物管理の課題、PPPやPFIを活用した官民連携による社会資本の整備など、多くの課題に取り組みながらこれらの要請に応えていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第599回建設技術講習会では、わが国では東日本大震災や台風、新燃岳の噴火など、各地で自然災害による甚大な被害を受けている。また大都市の多くは洪水時の河川水位より低い位置にあるため、潜在的な危険性も極めて高いと言われており、自然災害から国民の生命と財産を守ることが重要な課題となっている。そのため、今後ますます高まる自然災害リスクに対し、予防的な治水対策や減災対策、地震等による津波・高潮対策及び土砂災害対策等を推進する。また、防災情報の高度化、ハザードマップの作成などの地域防災力の向上や緊急時における危機管理対応を適切に行うための体制づくり（情報収集・提供、地域住民・地元企業等との連携等）など、災害危機管理能力の向上や自然災害に対する施策及び取り組みなどについて学び、防災対策の推進に資することを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 敬具

全建発第24～251号

平成24年12月21日

(機関管理者) 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
研修委員長 越智 繁雄
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成25年度建設技術講習会について

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

現在、我が国においては、人口減少、高齢化社会、財政制約といった社会構造変化や気候変動・地球環境問題への対応の中で、「持続可能で活力ある国土・地域づくり」を進めていかなければなりません。また、東日本大震災で被災した地域の復興にあたっては「国民の安全・安心を守る」という社会資本整備の最も重要な使命を再認識し、国民にとって真に必要な社会資本の整備と管理を戦略的に進めていかなければなりません。

そのようななか、私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に負けない国土・地域づくり、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントと公物管理の課題、PPPやPFIを活用した官民連携による社会資本の整備など、多くの課題に取り組みながらこれらの要請に応えていく必要があります、技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

一般社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成25年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会の積極的なご活用についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

敬具

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 松田 芳夫



第599回建設技術講習会（災害に負けない国土・地域づくり）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成25年11月27日（水）～29日（金）、福島市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、わが国では東日本大震災や台風、新燃岳の噴火など、各地で自然災害による甚大な被害を受けている。また大都市の多くは洪水時の河川水位より低い位置にあるため、潜在的な危険性も極めて高いと言われており、自然災害から国民の生命と財産を守ることが重要な課題となっている。そのため、今後ますます高まる自然災害リスクに対し、予防的な治水対策や減災対策、地震等による津波・高潮対策及び土砂災害対策等を推進する。また、防災情報の高度化、ハザードマップの作成などの地域防災力の向上や緊急時における危機管理対応を適切に行うための体制づくり（情報収集・提供、地域住民・地元企業等との連携等）など、災害危機管理能力の向上や自然災害に対する施策及び取り組みなどについて学び、防災対策の推進に資するものとするを目的としています。

なお、本講習会は福島県・福島市の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：正会員・特別会員・賛助会員 …………… 12,500 円
正会員（地元）〔開催県内に勤務の正会員〕 …………… 2,000 円
非会員 …………… 17,500 円
※昼食の斡旋はありません ※聴講のみの参加は可能です
※正会員（地元）は割引価格のためキャンセルはできません

③現場研修料：7,200 円〔うち昼食代1,200 円〕
※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて期限までになるべくメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
開催当日に会場でのお支払い等は受け付けできません。

⑤申込書送付先：（一社）全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂 3-21-13 ヒューリック赤坂ビル 7F
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 **0311142**
口座名義：シャ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義（協会名）の前に、開催回数「599」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成25年11月8日（金）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※申込の取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成25年11月15日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成25年11月22日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

この講習会は、（一社）全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度（CPDS）」の認定講習会として単位が取得できます。（会場で継続学習制度（CPDS）についての案内を配布します。）

講習会情報については、全建ホームページもご覧ください。 <http://www.zenken.com/>

第599回建設技術講習会（災害に負けない国土・地域づくり）日程 ～危機管理に備えた体制の充実強化～

一わが国では東日本大震災や台風、新燃岳の噴火など、各地で自然災害による甚大な被害を受けている。また大都市の多くは洪水時の河川水位より低い位置にあるため、潜在的な危険性も極めて高いと言われており、自然災害から国民の生命と財産を守ることが重要な課題となっている。そのため、今後ますます高まる自然災害リスクに対し、予防的な治水対策や減災対策、地震等による津波・高潮対策及び土砂災害対策等を推進する。また、防災情報の高度化、ハザードマップの作成などの地域防災力の向上や緊急時における危機管理対応を適切に行うための体制づくり（情報収集・提供、地域住民・地元企業等との連携等）など、災害危機管理能力の向上や自然災害に対する施策及び取り組みなどについて学び、防災対策の推進に資するものとする。

会場 …… コラッセ福島（多目的ホール）
〒960-8053 福島市三河南町 1-20 Tel.024-525-4089(代)

(1日目)	平成25年11月27日（水）	(敬称略)
12:40 } あいさつ 13:00	(一社)全日本建設技術協会長 福島県知事 福島市長	松田 芳夫 佐藤 雄平 瀬戸 孝則
13:00 } 災害に負けない国土・地域づくりについて 14:00	国土交通省水管理・国土保全局防災課 首都直下地震対策官	宮武 晃司
14:10 } 【地域の復興事業①】 14:50 福島県における震災の経験を活かしたまちづくり ～津波被災地の復興事業を中心に～	福島県土木部 参事（復興・まちづくり担当）	長谷川 潔
14:50 } 【地域の復興事業②】 15:10 地すべり面が露頭した全国的にも類をみない 大規模地すべり災害に挑む！	福島県土木部都市総室まちづくり推進課 主査	中濱 早苗
15:10 } 【地域の復興事業③】 15:30 東日本大震災による被災住棟の復旧について	福島県土木部営繕課 専門建築技師	橋本 知幸
15:40 } 今後の地震・津波防災のあり方について 16:40 ～東日本大震災の被害実態と教訓から～	東北大学災害科学国際研究所 副所長・教授	今村 文彦
「震災応援ありがとう in 福島」<希望者のみ> 主催： 応援派遣の御礼・元気な福島情報発信（17:30 開宴） 福島県建設技術協会 感謝イベント実行委員会		
(2日目)	11月28日（木）	(敬称略)
9:40 } 【特別講演】 10:40 東日本大震災の初動への対応について	元国土交通省東北地方整備局企画部防災課長	熊谷 順子
10:50 } 【地域の復興事業④】 11:50 東日本大震災をはじめとする東北地区管内における 河川関係災害対応について	国土交通省東北地方整備局河川部 河川調査官	常山 修治
13:00 } 【地域の復興事業⑤】 14:00 港湾における東日本大震災の復旧・復興事業につ いて	国土交通省東北地方整備局港湾空港部 港湾空港企画官	佐瀬 浩市
14:10 } 【地域の復興事業⑥】 15:10 道路における東日本大震災の復旧・復興事業につ いて	国土交通省東北地方整備局道路部 道路調査官	宮田 忠明
15:20 } 災害時の情報伝達と避難誘導について 16:20	東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科 准教授	関谷 直也
16:20 } 閉会のあいさつ	福島県建設技術協会長 (福島県土木部次長)	鈴木 武男
地域の独自調査		
(3日目)	11月29日（金）	【現場研修】

J R 福島駅西口（8:10）出発

→ 浪江町請戸地区被災状況（下車説明）

→ 昼食（相馬市内）

→ 松川浦被災状況（大浜地区海岸 海岸災害復旧事業）（下車説明） → J R 福島駅（17:10）着後解散

（※視察時は車窓より各所における東日本大震災の被災状況や東北中央自動車道 相馬福島道路（復興支援道路）を見ることが出来ます）

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。

※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第599回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 浪江町請戸地区被災状況

平成23年3月11日、東日本大震災が発生し、福島県内の各地域で未曾有の被害を受けました。浪江町は幾世橋地区で震度6強を観測し、さらにこの地震が引き起こした大津波によって町の沿岸部は壊滅的被害を受けました。加えて、隣接する双葉町大熊町域で福島第一原子力発電所事故が発生し、以後、放射能漏れによって多大で長期的な影響を受けることとなりました。

浪江町請戸地区は、津波による甚大な被害に加え、現在でも避難指示解除準備区域（平成23年4月1日警戒区域再編）となり、住民の帰還に向け、この地域の復興を果たすため、浪江町が復興まちづくり計画策定（土地利用計画策定等）を進めています。請戸地区は防災集団移転により住居は移転することになるとと思われるものの、請戸漁港とその周辺では多くの漁業関係者が今後も就業する予定であること等を踏まえつつ、町計画を策定中です。

そこで、町による復興まちづくり計画策定を進めるうえで、前提として整理する必要がある都市構造の骨格となるインフラ（県施工の港湾・道路・防災林）の部分について、町と県が協働で津波シミュレーションを行いながら、まちづくりの方針を検討しています。

…………… 双葉郡浪江町



2 大浜地区海岸・海岸災害復旧事業

平成23年3月11日14時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生しました。地震から約1時間後に相馬市を襲った大津波（高さ9.3m以上）は、堤防を乗り越え、大洲海岸から約3.7kmの距離にある国道6号バイパスまで到達しました。市内の農地の約40%が冠水したほか、原釜・尾浜地区、磯部地区などの集落が波にのみ込まれ、死者458名、住宅被害5,584棟、被災水田面積1,102haと甚大な被害を受けました。本市沿岸部においては約2,000haを超える面積が津波による被害を受け、特に、松川浦漁港及び松川浦漁港海岸においては漁港施設並びに防潮堤の施設とともに、漁港区域内にある漁業関係者の憩いの場所として利用されていた緑地等の環境施設も甚大な被害を受けました。松川浦漁港海岸では今回の地震によりH=110cmの沈下が発生しており、防潮堤及び漁港環境施設を嵩上げ復旧する必要があります。同様に環境施設に隣接した県立自然公園に整備された遊歩道においても流出・沈下により施設が浸水することから、施設の復旧が必要不可欠であり、漁業関係者をはじめとする利用者及び周辺の観光業者からは、一刻も早い漁港環境施設の復旧とともに安全な賑わいの場の創出が求められており、被災からの復興及び振興に寄与するものと期待されています。

…………… 相馬市



3 東北中央自動車道 相馬福島道路（復興支援道路）

一般国道115号は、沿岸の相馬市と県都福島市を結ぶ重要な路線です。しかし、現道は急峻な山間部を通る区間が多く、多数の線形不良箇所や事前通行規制区間等があり、事故や災害により通行に支障をきたしています。一方で、東日本大震災では緊急輸送道路として利用される等、防災面においても重要な位置づけにあります。相馬福島道路は、現在の国道115号に変わって相馬～福島間を信頼性・速達性の高い道路で結ぶものであり、医療面・経済面等でも大きな効果が期待されています。また、相馬福島道路は東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。本道路が復興支援道路として整備されることにより被災地と内陸部の連携が強化され、被災地の復興を支援することから、早期完成を目指して事業が進められています。

…………… 相馬市～桑折町



（※移動時の車窓より見ることができます）

第 599 回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には福島市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328

〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3~1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成25年11月26日(火), 27日(水), 28日(木)

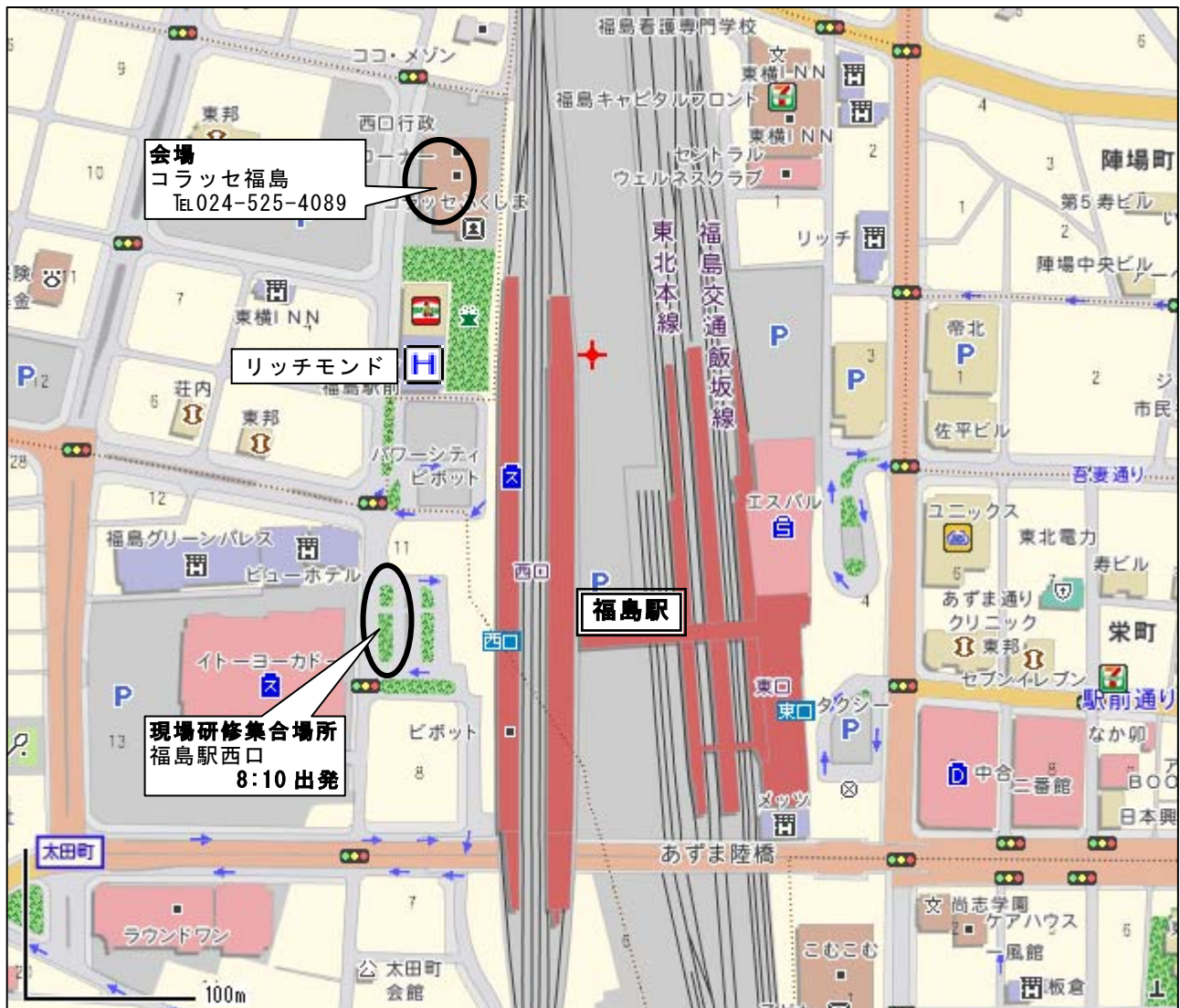
(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名	所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
リッチモンドホテル福島駅前	福島市三河南町1-15 TEL024-526-1255	シングル	30名	7,900円

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



全国からの派遣応援への感謝をこめて、 「震災応援ありがとう in 福島」を開催します。

福島県建設技術協会では、第599回建設技術講習会の場をお借りして、東日本大震災復興における全国からの技術派遣応援のお礼、復旧・復興が進む福島県の情報発信等を目的に「震災応援ありがとう in 福島」を開催いたします。

福島県では、現在も復旧・復興が鋭意進められており、全国から派遣技術者の皆様にご協力をいただいています。そこで、講習会に参加する皆様へ感謝とお礼をさせていただくこととしました。詳細につきましては下記の通りとなっていますので、ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

なお、準備等を進める関係で、事前に参加の出欠を確認させていただきます。参加ご希望の方は申込書の「感謝イベント」欄に○印を記入して下さい。

※この感謝イベントは会費制となっています。

日時：平成25年11月27日(水) 17時30分開宴
(第599回建設技術講習会 1日目講義終了後)
場所：コラッセふくしま 3階「企画展示室」
会費：2,000円程度 (講習会受付時に徴収させていただきます。)

企画コンセプト「感謝とおもてなし」

- 1 全国からの派遣応援に対する御礼
- 2 復旧・復興の元気な福島の情報発信
- 3 「八重の桜」を始め、観光広報・風評挽回

1 おもてなしイベント

～感謝をこめて楽しく～

- ①福島県地酒
(県酒造組合と連携)
- ②県産農産物の料理
- ③フラガール
- ④八重隊
- ⑤ひょっとこ踊り
- ⑥土木おやじバンド 他

2 意見交換も可能

～情報発信と意見交換～

- ①初期対応テーブル
- ②緊急輸送路確保テーブル
- ③応急、災害復旧テーブル
- ④仮設、災害住宅テーブル
- ⑤津波まちづくりテーブル
- ⑥加速化、体制テーブル
- ⑦放射能対策テーブル

3 観光情報も発信

～福島市といっしょに～

- ⑧観光広報ブース
- ⑨元気ふくしま、
まちづくりブース
- ⑩「道の駅」臨時駅設置

各会食テーブルに
プレゼンター配置
Q&A、雑談形式で

(問い合わせ)

福島県建設技術協会 感謝イベント実行委員会

担当:小川 (福島県土木部砂防課内)

TEL 024-521-7491

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
 (特別・賛助会員名、会社名)

第599回建設技術講習会（災害に負けない国土・地域づくり）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		現場研修	感謝イベント	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性の場合は番号に○をつけて下さい)	年齢		正会員	一般(非会員)			予約日に○を記入して下さい		
							11月 26日	27日	28日
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
聴講料 正会員・特別会員・賛助会員 名×12,500円＝ 円 正会員(地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員」(賛助会員除く) 一般(非会員) 名×17,500円＝ 円					↑ 現場研修の昼食は不要の申し出はできません ※	宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、“○禁”、“○喫”のように記入してください。			
現場研修料 名×7,200円＝ 円									
計									

↓全建に振込

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、正会員(地元)は割引価格のためキャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできません。予めご了承下さい。